

Accelerating Value Creation,

社会システムのデジタルトランスフォーメーション(DX)、快適でレジリエントなインフラの普及、地球規模でのカーボンニュートラル推進、そして、共に働く人々をはじめとする、ステークホルダーとの関係強化。私たち安藤ハザマは、日々、変化を続ける世界と向き合い、サステナブルな価値の創造に挑戦しています。それらはさまざまな形となり、より良いインパクトをグローバルに発揮し続けています。

安藤ハザマの事業展開

国内土木事業



人々が安心安全・快適に暮らせるよう、生活の基盤である道路・鉄道などの交通網、上下水道・電気などのライフライン、エネルギー施設など、社会資本の整備を担っています。さらに、土壌汚染修復などの環境対策から防災減災を含めた社会資本の維持更新など、社会のニーズに応じていきます。

国内建築事業



計画段階から設計、施工、メンテナンス、リニューアルまで、建物のライフサイクル全てにわたってサポートします。お客様のニーズ・条件に合った建物の仕様・工期・コストをプランニングし、安全・品質・工程管理はもちろん、近隣や環境に配慮した施工により、お客様にとって最適な建物、サービスを提供します。

海外事業



さまざまな国や地域の工事に携わって半世紀以上、アジアと北米に支店を置き、各国に拠点を配置しています。海外でのインフラ整備や、海外進出をお考えのお客様へのトータルサポートなど、各国の社会の発展に寄与します。

建設外事業



事業ポートフォリオの変革に向けて、エネルギー関連事業、不動産・インフラ運営事業、ビルサービス事業など建設以外の事業の強化にも積極的に取り組んでいます。

コーポレートシンボル

コーポレートシンボルは、スクエアのフォルムを横切るように大きな流れが渦を巻き、堅実さと躍動感、力強さを同時に表現しています。安定感のあるスクエアフォルムは、これまでの歴史の中で培った豊富な実績や信頼、そしてお客様本位の誠実な姿勢を表します。また、大きな渦には、安藤ハザマがそれらの価値を大切にしつつ、枠に収まらない新たな挑戦を果敢に続け、新しい価値を創造していくという思いを託しています。そして、動きを感じさせるデザインによって、安藤ハザマが特定の型に留まらず、常に進化し、拡大し続ける姿を示しています。



Maximizing Our Impact

INDEX

- 03 安藤ハザマの歴史と蓄積
- 05 持続可能な社会に貢献する、
安藤ハザマの価値創造戦略
- 09 トップメッセージ
- 15 ストラテジックフォーカス
「中期経営計画2025」の始動
- 19 財務戦略
- 21 コーポレートガバナンス
公正で誠実な企業活動に向けて
社長と社外取締役による対談
役員一覧
- 33 財務・非財務ハイライト
- 35 事業概況
土木事業
建築事業
海外事業
スタートアップ企業との連携
- 45 サステナビリティ戦略概況
- 55 連結財務諸表
- 59 株式の状況
- 60 会社概要／編集方針
- 61 組織図
- 62 第三者意見

レポートの紹介

経営戦略の骨子とその成果のエッセンスについて、より明快にご理解いただけるよう、財務情報と非財務情報を統合した「コーポレートレポート2023」を刊行しました。

継続的なサステナビリティ活動の詳細および環境データについては、「サステナビリティレポート2023」をご覧ください。

コーポレートレポート2023

- 長期ビジョンおよび中期経営計画に即した経営戦略の要旨と目標
- 財務、非財務経営戦略の骨子とその成果



サステナビリティレポート2023

- マテリアリティに即したサステナビリティ活動の詳細
- 継続的な活動状況の開示
- 環境データ



安藤ハザマの歴史と蓄積

黎明期より培った、「私たちだからできるものづくり」のDNA

日本初の施工や工法の採用、国内外最高水準の技術への挑戦など、私たち安藤ハザマは前身企業(安藤建設 1873年創業、間組 1889年創業)の創業以来、現状に満足することなく常に新しい価値を創造するために挑戦を続けてきました。そして、築き上げてきた確かな技術力と経験をもとに人々の生活や社会に貢献してきたことが私たちのDNAであり、競争力の源泉です。

土木

竣工

概要

鴨緑江橋(中国・北朝鮮) 1911年 中国と北朝鮮の国境の鴨緑江に建設された回転式の鉄道橋、現在は遺構となっている

佐久間ダム(静岡県) 1956年 戦後初の大規模機械化施工

黒部ダム(富山県) 1963年 高度経済成長期の電力不足を補うため、発電を目的として建設されたアーチ式コンクリートダムで、堤高186mは現在も日本一



関越自動車道 関越トンネル(群馬県) 1982年 山岳道路トンネルとしてわが国最長を誇る

青函トンネル 吉岡工区(北海道) 1985年 開通当時世界一の長さ(53.8km)を誇った鉄道トンネルで、当社は北海道側の吉岡工区を担当

白島石油備蓄基地(福岡県) 1996年 わが国最大の洋上タンク式石油備蓄基地 [1996年度土木学会技術賞](#)

地下鉄12号線(都営地下鉄大江戸線)環状部六本木駅工区(東京都) 2000年 地下埋設物も輻輳する立地条件に加え、崩壊性の地盤、高水圧下での施工という厳しい条件をクリアするため、4心円シールド工法を世界で初めて駅シールドとして採用 [1999年度土木学会技術賞](#)



ダイナム水力発電プロジェクトCW2ダム(ベトナム) 2007年 ベトナムホーチミン市の北東に位置し、2つの主ダムと4つのサドルダム、連結水路からなる最大出力30万kWの発電を行う水力発電所で、当社はダムを施工

伊勢神宮 宇治橋(三重県) 2010年 20年に一度の宇治橋の架け替えて、当社で3回施工



新武岡トンネル(鹿児島県) 2013年 双設トンネルの掘削断面積は約380m²で、道路トンネルとしてはわが国最大 [2013年度土木学会技術賞](#)

建築

竣工

概要

愛媛県庁(愛媛県) 1928年 現役の都道府県庁舎としては全国で3番目に古く、歴史的に貴重な建物

伊藤忠商事 東京本社ビル(東京都) 1980年 建物中央部に設けた巨大吹抜け(光庭)が特徴、約11.2万m²を約1年6か月で施工 [第23回BCS賞](#)

慶應義塾大学 図書館・新館(東京都) 1981年 約1.5万m²の大図書館、地下5階に容積の半分を沈め周辺の景観へも配慮 [第24回BCS賞](#)

ホンダ青山ビル(東京都) 1985年 わが国初の本格的インテリジェントビルと称される [第28回BCS賞](#)

東京都葛西臨海水族園(東京都) 1989年 建物屋上の噴水池が東京湾と一体になり美しい景観をつくり出している [第32回BCS賞](#)

JRA中山競馬場 スタンド(千葉県) 1990年 中山競馬場の開設60周年記念事業として行われた改築工事、わが国初となる曲線エスカレーターも設置

東京ビッグサイト(東京都) 1995年 わが国最大級のコンベンション施設で、施工精度と安全性の向上、資材揚重省力化などを図るためリフトアップ工法を採用 [第38回BCS賞](#)



ペトロナス ツインタワー(タワーI)(マレーシア) 1997年 建設当時世界一の高さ(452m)を誇り、20世紀の超高層建築としても世界一を誇る



トッパン小石川ビル(東京都) 2000年 凸版印刷の創立100周年記念事業の一環、曲面のガラスカーテンウォールが印象的な建物 [第42回BCS賞](#)



南東北がん陽子線 治療センター(福島県) 2007年 建設会社で初となる設計施工による国内民間初の陽子線(粒子線)がん治療施設

2013年 安藤ハザマ誕生

サステナブルな社会を見据え、安藤ハザマグループで、さらなる価値創造を続ける

経済のグローバル化、価値観の多様化、地球環境問題の深刻化など、現在、社会には多くの機会と課題が存在しています。2013年の会社合併以降、私たちは、持続可能な社会の実現の重要性を強く意識し、グループ経営戦略の中軸に据えたものづくりを展開しています。

土木



津軽ダム (青森県)

2016年

当社が施工した直上流60mに位置する目屋ダムの再開発に位置づけられた多目的ダムで、打設工期の短縮が可能な「巡航RCD工法」を採用
土木学会デザイン賞2018最優秀賞、2017年度土木学会技術賞

建築



日本青年館・日本スポーツ振興センタービル (東京都)

2017年

劇場、ホテル、事務所などを備えた大規模複合建築物で、メガトラス梁のリフトアップ工法を採用



横浜環状北西線シールドトンネル (神奈川県)

2019年

大断面、長距離、大深度のトンネルを確実に施工するために、「スマートシールド®」システム等の先進技術を積極導入



名古屋城本丸御殿 (愛知県)

2018年

城郭御殿の最高傑作と称され、1930年に旧国宝第一号に指定されたが、戦災で焼失、1959年の天守再建(当社施工)から59年を経て、本丸御殿を忠実に復元



二重峠トンネル(阿蘇工区) (熊本県)

2020年

熊本地震からの早期復旧に対応するためにトンネル新設工事では国内初となるECI方式を採用し、通常の工程の約半分で掘削を完了 2020年度土木学会技術賞



所沢市民文化センター (埼玉県)

2019年

所沢市発注のPFI事業(改修)で、当社はSPCの構成員として建設業務(ホールの天井補強、バリアフリー化など)を担当



ナムグム第一水力発電所拡張 (ラオス)

2022年

当社が施工した既設ダムにおいて水車発電機を増設。東南アジアでは初となる既設ダム堤体の穴開けによる取水口の新設など非常に難易度の高い工事



新電元工業 朝霞事業所 (埼玉県)

2021年

建物内部のアトリウムと一体化したウェルネスオフィスと環境性能を実現
2022年照明デザイン賞、2022年照明施設賞、ZEB Ready (52%省エネ)、CASBEE建築Sランク、CASBEEウェルネスオフィスSランク